

# News Release

平成20年 7月31日

パイオニア株式会社 平成21年 3月期 第1四半期 連結業績についてのお知らせ

## 1. 連結経営成績

(金額単位 百万円)

科 目	平成21年3月期第1四半期 (平成20年4月 ～平成20年6月)	平成20年3月期第1四半期 (平成19年4月 ～平成19年6月)	前 年 同期比
営 業 収 入	160,966	182,641	88.1%
営業利益(△損失)	△6,219	1,323	—
税引前利益(△損失)	△5,676	16,185	—
当期純利益(△損失)	△7,744	12,331	—

平成21年3月期第1四半期における連結営業収入は、主に市販市場向けカーオーディオやD VDドライブ、およびプラズマディスプレイの売上が減少したことにより、前年同期に比べ11.9%減収の160,966百万円となりました。

営業損益は、営業収入の減少と原価率の悪化により、前年同期の1,323百万円の利益から、6,219百万円の損失となりました。当期純損益は、所沢事業所および大森事業所(一部)の土地・建物の売却益11,903百万円を計上したことによる前年同期の12,331百万円の純利益から、7,744百万円の純損失となりました。

当四半期の為替レートは、前年同期に比べ、対米ドル15.5%の円高、対ユーロ0.4%の円安となりました。

カーエレクトロニクスの営業収入は、前年同期に比べ9.2%減収の88,095百万円となりました。カーナビゲーションシステムについては、OEMは微増となりましたが、市販市場向けが国内で増加した一方で海外で減少したことにより、カーナビゲーションシステム全体の売上は減収となりました。カーオーディオについては、OEMは主に中国で増加しましたが、市販市場向けが海外で減少したことにより、カーオーディオ全体の売上は減収となりました。なお、カーエレクトロニクス全体に占めるOEMの売上構成比は、前年同期の約36%から約41%となりました。

国内外別の営業収入については、国内は7.5%増収の34,892百万円、海外は17.6%減収の53,203百万円となりました。

営業利益は、市販市場向けのカーオーディオとカーナビゲーションシステムの売上が減少したことなどにより、前年同期に比べ77.6%減益の1,704百万円となりました。

問合せ先：コーポレートコミュニケーション部 IR室

電話 (03) 3495-6773

ファクシミリ (03) 3495-4301

Eメール pioneer\_ir@post.pioneer.co.jp

URL <http://pioneer.jp/ir/>

ホームエレクトロニクスの営業収入は、前年同期に比べ17.4%減収の57,343百万円となりました。これは、海外における販売台数の減少によってプラズマディスプレイの売上が減少したことに加えて、DVDドライブやDVDレコーダーの売上也減少したことによるものです。なお、ホームエレクトロニクス全体に占めるディスプレイの売上構成比は、前年同期の約34%から約33%となりました。

国内外別の営業収入については、国内は48.1%減収の6,628百万円、海外は10.5%減収の50,715百万円となりました。

営業損失は、前年同期の5,437百万円から、7,394百万円となりました。これは、売上の減少と原価率の悪化により、プラズマディスプレイの損失が拡大したことによるものです。

その他の営業収入は、有機ELの売上が減少したことにより、前年同期に比べ4.1%減収の15,528百万円となりました。

国内外別の営業収入については、国内は前年同期並みの10,369百万円、海外は11.6%減収の5,159百万円となりました。

営業損失は、主に携帯電話用スピーカーユニットの損失が縮小したことにより、前年同期の750百万円から改善し、264百万円となりました。

(注) 1.各セグメントの営業損益は、セグメント間取引消去前の金額を表しています。

2.従来は、「特許関連事業」を独立セグメントとして区分していましたが、当該事業の連結業績に対する重要性が低下したことにより、当四半期から「その他事業」セグメントに含めています。前年同期の金額についても、当四半期の表示に合わせて組替表示しています。

## 2. 連結財政状態

当第1四半期末の総資産については、前期末に比べ37,104百万円増加し、613,220百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金や棚卸資産などの流動資産が増加したことによるものです。受取手形及び売掛金は、売掛金の流動化の金額が当四半期に減少したことなどにより、14,257百万円増加し、107,325百万円となりました。また、棚卸資産は、プラズマディスプレイの新製品や市販市場向けカーエレクトロニクス製品の在庫を積み増したことなどにより、18,795百万円増加し、122,963百万円となりました。

負債については、前期末に比べ33,338百万円増加し、360,697百万円となりました。これは、主に短期借入金や買掛金などの流動負債が増加したことによるものです。短期借入金は、33,188百万円増加し、48,000百万円となりました。また、買掛金は、主にプラズマディスプレイやカーナビゲーションシステムの材料仕入の増加により、15,654百万円増加し、101,849百万円となりました。

資本については、前期末に比べ3,673百万円増加し、251,068百万円となりました。これは、利益剰余金が7,744百万円減少した一方、累積外貨換算調整勘定の良化などにより、その他の包括損失累計額が11,417百万円減少したことによるものです。

当第1四半期のキャッシュ・フローについては、営業活動では、28,460百万円のキャッシュを使用しました。これは、買掛金の増加13,386百万円、減価償却費6,930百万円などのキャッシュ増加要因がありましたが、棚卸資産の増加14,123百万円、受取手形及び売掛金の増加10,618百万円、未払費用の減少10,064百万円、当期純損失7,744百万円などの減少要因があったことによるものです。投資活動では、カーエレクトロニクス事業における設備投資などに、8,297百万円のキャッシュを使用しました。財務活動では、短期借入金の増加などにより、30,624百万円のキャッシュを得ました。

以上の結果、当四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ1,796百万円減少し、79,384百万円となりました。

### 3. 連結業績予想

平成20年5月13日に発表した平成21年3月期連結業績予想の変更はありません。

(金額単位 百万円)

	第2四半期連結累計期間			通 期		
	平成21年3月期 業績予想	平成20年3月期 実績 (ご参考)	増減率 (%)	平成21年3月期 業績予想	平成20年3月期 実績 (ご参考)	増減率 (%)
営業収入	350,000	383,161	△8.7	780,000	774,477	0.7
営業利益 (△損失)	△15,000	2,262	—	7,000	10,907	△35.8
税引前利益 (△損失)	△15,000	17,645	—	△7,500	3,434	—
当期純利益 (△損失)	△18,000	9,936	—	△19,000	△17,992	—

なお、業績予想における為替レートは、1米ドル=105円、1ユーロ=155円を想定しています。

#### 見通しに関する注意事項

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いいたします。また、当社は新たな情報、将来の事象、その他の結果によってこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)継続的な新製品導入、急速な技術開発、厳しい価格競争、主観的で変化しやすい消費者の嗜好等の特徴とする、競争の激しい市場において、評価の高い製品やサービスを継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)事業に影響を与える技術進展に応じて、競争し、販売戦略を策定、成功させる能力、(6)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(7)ブランドイメージを継続的に向上させる能力、(8)他社との合弁や提携の成功、(9)事業構造改革の成功、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の移動）  
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更  
平成18年9月に、米国財務会計基準審議会は、基準書第157号「公正価値の測定」を発行しました。当社では、同基準書を平成20年4月1日より適用しています。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(金額単位 百万円)

科目	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
(資産の部)		
現金及び現金同等物	79,384	81,180
受取手形及び売掛金	107,325	93,068
製品	68,175	54,404
原材料	32,804	27,946
仕掛品	21,984	21,818
短期繰延税金資産	19,540	20,254
前払費用及びその他の流動資産	54,126	50,567
流動資産合計	383,338	349,237
長期保有の売却可能有価証券	33,097	32,357
関係会社に対する投資及び貸付金	1,923	2,226
その他の投資及び長期債権	1,893	1,814
投資及び長期債権合計	36,913	36,397
有形固定資産	366,188	357,733
減価償却累計額	△241,832	△234,981
有形固定資産合計	124,356	122,752
のれん	1,824	1,824
その他の無形固定資産	15,105	15,914
長期繰延税金資産	40,481	39,915
その他の資産	11,203	10,077
その他の資産合計	68,613	67,730
資産合計	613,220	576,116
(負債の部)		
短期借入金	48,000	14,812
1年以内返済予定の長期債務	13,269	13,672
買掛金	101,849	86,195
未払法人税等	4,487	5,601
未払人件費	12,562	16,346
未払特許料	13,019	14,002
その他の未払費用	37,268	39,418
製品保証引当金	5,582	5,265
その他の流動負債	19,698	26,696
流動負債合計	255,734	222,007
長期債務	71,227	72,041
未払年金費用及び退職給付引当金	29,923	30,319
長期繰延税金負債	268	281
その他の固定負債	3,545	2,711
固定負債合計	104,963	105,352
負債合計	360,697	327,359
少数株主持分	1,455	1,362
(資本の部)		
資本金	69,824	69,824
資本剰余金	103,578	103,578
利益剰余金	137,551	145,295
その他の包括損失累計額	△48,761	△60,178
自己株式	△11,124	△11,124
資本合計	251,068	247,395
負債、少数株主持分及び資本合計	613,220	576,116

(2) 四半期連結損益計算書

(金額単位 百万円)

科目	当第1四半期連結累計期間 自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日
営業収入	
売上高	160,907
特許料収入	59
計	160,966
営業費用	
売上原価	129,019
販売費及び一般管理費	38,166
計	167,185
営業損失	△6,219
営業外収益・費用	
受取利息	1,035
為替差損益	223
支払利息	△415
その他(純額)	△300
計	543
税引前損失	△5,676
税金	1,959
少数株主損益	△48
持分法投資損益	△61
当期純損失	△7,744

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

(1) 要約四半期連結貸借対照表

(金額単位 百万円)

科目	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前第1四半期 連結会計期間末 (平成19年6月30日)	対前年同 期末増減	前連結会計年度末に 係る要約連結 貸借対照表 (平成20年3月31日)	対前期末 増減
(資産の部)					
現金及び現金同等物	79,384	86,506	△7,122	81,180	△1,796
受取手形及び売掛金	107,325	131,186	△23,861	93,068	14,257
棚卸資産	122,963	131,114	△8,151	104,168	18,795
その他の流動資産	73,666	77,674	△4,008	70,821	2,845
流動資産合計	383,338	426,480	△43,142	349,237	34,101
投資及び長期債権	36,913	28,146	8,767	36,397	516
有形固定資産	124,356	146,191	△21,835	122,752	1,604
無形固定資産	16,929	18,824	△1,895	17,738	△809
その他の資産	51,684	47,414	4,270	49,992	1,692
資産合計	613,220	667,055	△53,835	576,116	37,104
(負債の部)					
短期借入金	48,000	38,368	9,632	14,812	33,188
1年以内返済予定の 長期債務	13,269	5,731	7,538	13,672	△403
買掛金	101,849	119,062	△17,213	86,195	15,654
その他の流動負債	92,616	99,964	△7,348	107,328	△14,712
流動負債合計	255,734	263,125	△7,391	222,007	33,727
長期債務	71,227	85,021	△13,794	72,041	△814
その他の固定負債	33,736	23,945	9,791	33,311	425
負債合計	360,697	372,091	△11,394	327,359	33,338
(少数株主持分)					
少数株主持分	1,455	2,479	△1,024	1,362	93
(資本の部)					
資本金	69,824	49,049	20,775	69,824	—
資本剰余金	103,578	82,995	20,583	103,578	—
利益剰余金	137,551	177,652	△40,101	145,295	△7,744
その他の包括損失累計額	△48,761	△4,756	△44,005	△60,178	11,417
自己株式	△11,124	△12,455	1,331	△11,124	—
資本合計	251,068	292,485	△41,417	247,395	3,673
負債、少数株主持分 及び資本合計	613,220	667,055	△53,835	576,116	37,104
その他の包括損失累計額内訳					
年金債務調整額	△12,264	△5,099	△7,165	△12,279	15
未実現有価証券保有益	2,442	8,087	△5,645	1,943	499
累積外貨換算調整勘定	△38,939	△7,744	△31,195	△49,842	10,903

(2) 四半期連結損益計算書

(金額単位 百万円)

科目	当第1四半期連結累計期間 自平成20年4月1日 至平成20年6月30日	前第1四半期連結累計期間 自平成19年4月1日 至平成19年6月30日	前年同期比
営業収入			
売上高	160,907	182,534	88.2%
特許料収入	59	107	55.1
計	160,966	182,641	88.1
営業費用			
売上原価	129,019	138,733	93.0
販売費及び一般管理費	38,166	42,585	89.6
計	167,185	181,318	92.2
営業利益 (△損失)	△6,219	1,323	—
営業外収益・費用			
受取利息	1,035	1,790	57.8
為替差損益	223	429	52.0
支払利息	△415	△543	76.4
その他 (純額)	△300	13,186	—
計	543	14,862	3.7
税引前利益 (△損失)	△5,676	16,185	—
税金	1,959	3,651	53.7
少数株主損益	△48	△92	52.2
持分法投資損益	△61	△111	55.0
当期純利益 (△損失)	△7,744	12,331	—

(3) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(金額単位 百万円)

科目	当第1四半期連結累計期間		前第1四半期連結累計期間	
	自 平成20年4月1日	至 平成20年6月30日	自 平成19年4月1日	至 平成19年6月30日
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>				
1. 当期純利益 (△損失)		△7,744		12,331
2. 減価償却費及び償却費		6,930		8,717
3. 固定資産除売却損益		△322		△12,923
4. 受取手形及び売掛金の増加額		△10,618		△9,389
5. 棚卸資産の増加額		△14,123		△21,702
6. 買掛金の増加額		13,386		23,919
7. 未払法人税等・未払人件費・ その他の未払費用の減少額		△10,064		△9,445
8. その他		△5,905		△5,688
営業活動によるキャッシュ・フロー		△28,460		△14,180
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>				
1. 固定資産の取得による支出		△8,890		△15,460
2. 子会社株式の取得による支出		—		△13,704
3. その他		593		1,511
投資活動によるキャッシュ・フロー		△8,297		△27,653
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>				
1. 短期借入金及び長期債務の増減		31,293		24,699
2. 配当金の支払		△513		△872
3. その他		△156		△879
財務活動によるキャッシュ・フロー		30,624		22,948
IV 現金及び現金同等物の換算差額		4,337		3,571
V 現金及び現金同等物の純減少額		△1,796		△15,314
VI 現金及び現金同等物の期首残高		81,180		101,820
VII 現金及び現金同等物の期末残高		79,384		86,506
フリー・キャッシュ・フロー (I+II)		△36,757		△41,833

(4) 四半期セグメント別営業収入

(金額単位 百万円)

		当第1四半期連結累計期間		前第1四半期連結累計期間		前年同期比
		自 平成20年4月1日	至 平成20年6月30日	自 平成19年4月1日	至 平成19年6月30日	
		金額	構成比	金額	構成比	
国内		34,892	21.7%	32,458	17.8%	107.5%
	海外	53,203	33.0	64,559	35.3	82.4
カーエレクトロニクス		88,095	54.7	97,017	53.1	90.8
国内		6,628	4.1	12,763	7.0	51.9
	海外	50,715	31.5	56,668	31.0	89.5
ホームエレクトロニクス		57,343	35.6	69,431	38.0	82.6
国内		10,369	6.4	10,355	5.6	100.1
	海外	5,159	3.3	5,838	3.3	88.4
その他		15,528	9.7	16,193	8.9	95.9
国内		51,889	32.2	55,576	30.4	93.4
	海外	109,077	67.8	127,065	69.6	85.8
連結営業収入計		160,966	100.0	182,641	100.0	88.1

(5) 事業の種類別セグメント情報

(金額単位 百万円)

	当第1四半期連結累計期間 自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日		前第1四半期連結累計期間 自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日		前年同期比	
	営業収入	営業損益	営業収入	営業損益	営業収入	営業損益
カーエレクトロニクス	88,564	1,704	97,511	7,609	90.8%	22.4%
ホームエレクトロニクス	57,456	△7,394	69,592	△5,437	82.6	—
その他	23,998	△264	24,812	△750	96.7	—
合計	170,018	△5,954	191,915	1,422	88.6	—
消去又は全社	△9,052	△265	△9,274	△99	—	—
連結	160,966	△6,219	182,641	1,323	88.1	—

(注) 1. 当社の連結財務諸表は、セグメント情報の開示を除き、米国会計基準に基づいて作成されています。

2. 当社グループの事業区分別の主要製品は次のとおりです。

[カーエレクトロニクス事業]

カーナビゲーションシステム、カーステレオ、カーAVシステム、カースピーカー

[ホームエレクトロニクス事業]

プラズマディスプレイ、DVDレコーダー、DVDプレーヤー、DVDドライブ、  
ブルーレイディスクプレーヤー、ブルーレイディスクドライブ、オーディオシステム、  
オーディオコンポーネント、DJ機器、CATV関連機器

[その他事業]

有機ELディスプレイ、FA機器、スピーカーユニット、電子部品、電話機、AVアクセサリ、  
業務用AVシステム、光ディスク関連特許の使用許諾

3. 従来は、「特許関連事業」を独立セグメントとして区分していましたが、当該事業の連結業績に対する重要性が低下したことにより、当四半期から「その他事業」セグメントに含めています。前年同期の金額についても、当四半期の表示に合わせて組替表示しています。

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信〔米国会計基準〕

平成20年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 パイオニア株式会社  
 コード番号 6773 URL <http://pioneer.jp/ir/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 須藤 民彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経理部長 (氏名) 岡安 秀喜  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月11日

TEL 03-3494-1111

(百万円未満四捨五入)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		税引前四半期純利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	160,966	△11.9	△6,219	—	△5,676	—	△7,744	—
20年3月期第1四半期	182,641	△4.7	1,323	△81.3	16,185	102.2	12,331	117.8

	1株当たり四半期純利益		希薄化後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	△37.77		△37.77	
20年3月期第1四半期	70.70		64.68	

(注)営業利益は、営業収入から売上原価、販売費及び一般管理費を控除した金額で算出しています。

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
21年3月期第1四半期	613,220		251,068		40.9	1,224.62		
20年3月期	576,116		247,395		42.9	1,206.71		

(注)純資産は、米国会計基準に基づく資本合計を記載しています。また、自己資本比率および1株当たり純資産は、米国会計基準に基づく資本合計を用いて算出しています。

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間	
	円	銭	円	銭	円	銭
20年3月期	—	5.00	—	2.50	—	7.50
21年3月期	—	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成21年3月期の中間配当および期末配当は、業績等を考慮して今後決定する予定です。

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		税引前当期純利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期連結累計期間	350,000	△8.7	△15,000	—	△15,000	—	△18,000	—	△87.80	
通期	780,000	0.7	7,000	△35.8	△7,500	—	△19,000	—	△92.68	

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う子会社の異動) 無

(2)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

①会計基準等の改正に伴う変更 有

②①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ「4.(3)四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」をご覧ください。

(4)発行済株式数(普通株式)

①期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 210,063,836株 20年3月期 210,063,836株

②期末自己株式数 21年3月期第1四半期 5,047,285株 20年3月期 5,046,888株

③期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 205,016,829株 20年3月期第1四半期 174,415,761株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想の前提条件および注意事項等については、3ページをご参照下さい。